



2020年6月30日

各位

会社名 株式会社学研ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 宮原 博昭  
(コード：9470 東証第1部)  
問合せ先 執行役員 財務戦略室長 安達 快伸  
電話 03 (6431) 1016

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月15日に公表しました「2020年9月期 第2四半期決算短信」において、2020年9月期の業績予想を未定としておりましたが、下記のとおり業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2019年10月1日～2020年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年5月15日)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	141,000	4,600	4,800	1,950	52.71
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2019年9月期)	140,559	4,523	4,755	1,940	52.18

#### 2. 修正の理由

2020年5月15日に公表した「2020年9月期 第2四半期決算短信」では、新型コロナウイルス感染症拡大による第3四半期以降の当社業績への影響を合理的に算定することが困難であったため、2020年9月期の業績予想を未定としました。

今般、感染拡大ペースの鈍化に伴い全国に発出されていた緊急事態宣言がすべて解除されたことにより学校教育や経済活動が段階的に再開され、また自治体ごとの小・中学校の夏休み期間が発表されたことを踏まえ、現時点で入手可能な情報をもとに当期の連結業績予想数値を修正・公表いたします。

教育分野においては学研教室・進学塾など新学期の募集活動ができなかったことにより会員数が落ち込みましたが、今後、従来型の対面授業に加え緊急事態宣言下で立ち上げたオンライン授業により会員獲得を図ります。また、医療福祉サービス事業ではサービス付き高齢者向け住宅の開業遅延があるものの、感染防止対策の徹底により安定的な事業運営が継続する見込みです。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大にともない営業停止期間中に発生した費用の一部を特別損失として計上予定です。

セグメント別業績の修正数値は以下の通りです。

報告セグメント		前々回発表予想 (2019年11月13日)	今回修正予想	増減額
<教育分野>	売上高	81,000	77,800	△ 3,200
	営業利益	2,650	1,800	△ 850
教育サービス事業	売上高	34,500	33,000	△ 1,500
	営業利益	1,200	0	△ 1,200
教育コンテンツ事業	売上高	26,500	26,000	△ 500
	営業利益	750	1,250	500
教育ソリューション事業	売上高	20,000	18,800	△ 1,200
	営業利益	700	550	△ 150
<医療福祉分野>	売上高	59,000	60,000	1,000
医療福祉サービス事業	営業利益	2,350	2,650	300
その他	売上高	3,000	3,200	200
	営業利益	100	150	50
合計	売上高	143,000	141,000	△ 2,000
	営業利益	5,100	4,600	△ 500

また、配当予想につきましては、2020年5月15日公表の「2020年9月期 第2四半期決算短信」で開示しましたとおり、期末配当10円の年間配当を予定しております。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が再度必要となった場合には速やかに開示いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上